

【評議員会議事録】

日 時：2006年7月8日(土)11:00--14:00

場 所：国立天文台南研大会議室

出席者：安東，家，梅村，大橋，谷口，舘山，井上，岡村，海部，郷田，柴田，須藤，中川，永田，宮川，渡部 以上16名

有効委任状提出者：池内，小杉，佐藤，山本 以上4名

欠席者：なし

他に理事会から祖父江理事長，黒田副理事長，花岡・杉山・北本・関井理事および東條事務長が出席した。議事に先立ち議長および署名人を選出した。

議 長：家 正則

署名人：宮川雄大，渡部潤一

報 告

1. 前回議事録の確認(資料1)

前回(2006年3月28日)の評議員会議事録が報告され，原案通り承認された。

2. 今年の秋季年会について

花岡理事より今年の秋季年会について，順調に準備が進んでいること，懇親会への参加申し込みを電子メールで事前に及び初日のみ現地で受け付けるという形で行うこと，等が報告された。また，その後の年会について，2008年秋までの開催地及び担当者が決定していること，2009年春は大阪府立大が立候補していること，の報告があった。また年会に関連して，理事会で吉川ジュニアセッション実行委員会委員長を交えて行った意見交換について，ジュニアセッションは大変盛況であるが，発表のレベルが高くなってきていることで発表を申込みしきいが高くなっていると受け取られないか，発表への審査表彰を求める声がある，旅費が用意できるところとできないところがあるなど差が出てきている，など内容の報告がされた。

3. 新入会員の資格について

花岡理事より，前回の評議員会での議論を受けて理事会において，新入正会員の入会資格について大学で天文学を学んで卒業ないし同等の方を対象とする，ということを入会案内に明記する方向となり文案を検討中である，との報告があった。定款等で明文化された規定としなくてもよいのか，とのコメントがあり，さらに理事会で検討することとなった。

4. 科研費審査委員候補者(研究者情報の提供)の選考方法

花岡理事より，科研費審査委員については今年からその候補者リストを学術振興会に提出するという形で再び学会から推薦できるようになったものの，今年はじめの締め切りには学会での選考を進める間がなく出せなかった，これについて理事会では来年以降候補者リストを締め切りに間にあうよう用意すべく具体的に検討することとなった，との報告があった。候補者の選定について，学会から学術振興会に提出するのが単に候補者データベースの拡充のためのものであれば今までリストに入っていない若い方をリストアップするのがよい，いや学会として出したリストは単なる追加名簿という以上に学会として本来審査委員としてふさわしい人のリストであるべきである，というような意見が出され，理事側でさらに具体的な検討をすることとなった。

議 題

1. 新役員候補者(資料2)

2. 新選挙管理委員候補者(資料3)

3. 新委員会委員候補者(資料4)

以上3点は2007～2008年度を任期とする役員・委員の候補であり，これらについて議論した結果，承認して総会に提案・報告することとなった。

4. 2007年度事業計画書案(資料5)

花岡理事より2007年度の事業計画書案について説明があり、質疑応答の後一部修正の上承認した。

5. 2007年度収支予算書案(資料6)

北本理事より2007年度の収支予算書案について説明があり、質疑応答の後承認した。またこれに関連して、100周年記念出版委員会委員長である岡村評議員より編集の進捗状況の説明があった。

6. Asian-Pacific Journal について(資料7)

祖父江理事長より、新たに刊行が提案されている Asian-Pacific Journal (AsPJ) についての天文学会としての姿勢を決定する上で会員の意見を求めるために行ったアンケートの結果の報告があった。合わせて、これについての理事会での議論の結果、PASJを維持する一方引き続き学会としてAsPJにオブザーバーを送りたいことをAsPJ側に連絡することになったことが報告された。また、ジャーナルワーキンググループ委員長の梅村評議員より最近の各国の情勢及びアンケート結果の集計についてのコメントがあった。アンケート結果についてはまずtennetを通じて会員に周知するとともに、今年の秋季総会においても報告することとなった。

7. 男女共同参画「小委員会」の設置について(資料8)

黒田副理事長より、現在組織されている男女共同参画についてのワーキンググループを小委員会とすることについて理事会で決定したことの報告があり、あわせて小委員会のための内規案が提案された。現在ワーキンググループでは、普段は運営委員会等に参加する他、女子高校生向けに理科系学部・研究者の活動を紹介するイベントなどへの参加をおこなっている。ただ、ワーキンググループという形では活動が見えにくいいため、その活動をより学会内外に明確に示すことができるようにし、天文学に女性が参加しやすくすることを活動の主体とする小委員会とする、という趣旨である。議論の結果「男女共同参画委員会」の内規案を評議員会として承認し、委員会は発足することとなった。

8. 秋季総会議題等(資料9)

花岡理事より秋季総会議題等の説明があり、報告事項を追加した上で承認された。

9. その他

(1) 学会ロゴについて

北本理事より、理事会で学会ロゴを製作する方向で検討することになったことについて、まず製作を依頼するとなるとどういうところが候補となるのか、予算がどのくらいになるのか、などについて前例を調査した結果の紹介があった。今までに製作した実例についての紹介や、専門家に依頼するとよい、いや広く関心のある方に呼びかけて公募するのもよい、などの意見が出され、理事側でさらに具体的検討を進めることとなった。

(2) 学術会議

海部評議員より学術会議の状況について、9月に任命される連携会員を合わせて全体で約2000人となるメンバーがそろそろ予定であり、天文関係は会員・連携会員合わせて15名程度になる見込みである、最近の状況については総会で報告するとともに、年会では学術会議についての特別セッションも予定しており、基礎科学大型計画や研究評価などの諸問題について議論したい、との報告があった。

(3) 民間賞の推薦について

祖父江理事長より、現在民間賞の推薦依頼が学会宛に来たときに理事長・副理事長で遺漏ないように対応できるしくみを作っているが、よりシステムティックに推薦できるよう委員会を作ったらどうかとの提案があることが報告され、また評議員には是非積極的な推薦をお願いしたいとの発言があった。他分野と比べると一般に天文関係は賞への推薦に力を入れない傾向があるのでもっと熱心に推薦すべきである、推薦にかかる負担が大きいことで推薦が行われないことがないように実務の負担をうまく考えるべきである、天文学会でも賞を出しているからといって学会外の賞に応募しないようなことがあってはならない、等の意見が出された。

(4) 理科年表について

岡村評議員より、担当している理科年表の「天文学上のおもな発明発見と業績」に関して以下の報告があった。ガリレオの「望遠鏡による天体観測」の年が現在まで1610年となっているが、これは観測結

果の出版年であり、実際の観測は1609年から始められているので、この1609年を記載する。2009年にガリレオの発見400年を記念して世界天文年が計画されていることにも整合する。

(5) 次回以降の日程

次回の評議員会は秋季年会中に開催、次々回は2007年1月27日に国立天文台にて開催の予定である。

2006年7月24日

議長 家 正則

署名人 宮川 雄大

署名人 渡部 潤一